



大好き西高 2027

北海道札幌西高等学校

<http://www.sapporonishi.hokkaido-c.ed.jp/>

在校生が語る!西高の魅力。



西高座談会

かとう みく
加藤 未来さん
3年1組
女子ハンドボール部
(札幌市立月寒中学校)

はちやなぎ そうた
八柳 創太さん
3年3組
オーケストラ部
(余市町立旭中学校)

さくらい そう
桜井 湊さん
2年8組
軽音楽部 生徒会
執行委員会
(札幌市立厚別中学校)

だて こはる
伊達 心春さん
3年6組 放送局
(北海道教育大学
附属札幌中学校)

西高の魅力は?

加藤

西高の魅力は、やるときは全力でやるところだと思います。西高には、「勉強・部活動・行事の三兎を追え」という言葉があります。これを体現している西高生ばかりで、毎日勉強と部活動を頑張りながら、行事のときには前もって準備して、当日は全力で楽しめます。なのでたくさんの行事がある西高ですが、どの行事もすごく盛り上がります。三兎を追っていると日々が一瞬で過ぎ去っていくくらいとても充実した高校生活を送ることができます!

八柳

一番の魅力は、個性豊かなところだと思います。自由度が高いからこそ、個性が強い人もたくさんいるし、必ず気の合う仲間も見つけることができます。また、学校祭などの行事も個性豊かで、西高生は全力を尽くしています。きっと西高で過ごす高校生活は楽しく、そして忘れられないものになるはずです。

伊達

私は勉強や部活以外にも貴重な経験がたくさんできることが魅力だと思います!私は一年生の頃アイルランド研修に参加しました。最初は、異国の地で一人ホストファミリーと仲良くできるかなと不安でしたが、実際にいってみるとびっくりするくらい楽しくて2週間があっという間に過ぎました!この

経験のおかげで海外での生活にも興味が湧きました!他にもドリームプロジェクトという西高同窓会の企画で海面上昇の実態を調査するためパラオにもいかせていただきました。このように勉強、部活以外にもいろんなことを経験できるチャンスがあります!私自身、とても視点が広がってもっと色々なことに挑戦したいと意欲が湧くようになりました。

櫻井

私服登校と海外研修があるところです。天気に応じて快適な服を選びやすかったり、校則もほぼないので自分を表現できる場として学校に通えるのは他にはない魅力です。自分で自分の周りのことを調整できる校風が合っているという人は多いのではないのでしょうか。海外研修では、友達と観光を楽しめますし、海外の勉強をしながら、授業だけでは伸ばせない実践的な英語のスピーキング能力を伸ばせます。本当に貴重で為になる経験なので迷ったら参加するべきです!

高校の勉強は大変?

加藤

最初は毎週ある小テストの量にびっくりしました。内容は難しくなる上で進度が速いので、慣れるまでが大変でした。私は部活動に入っていて、なかなか勉強の時間が取れなかったのが、朝早めに登校して自習したり、部活がない日の放課後、学校に残って友達と勉強したりしてなんとか勉強時間



を確保しています。西高には分かるまで丁寧に教えてくれる先生方がいますし、周りには勉強を頑張っている人がたくさんいるので、良い刺激をもらいながら楽しく勉強できています!

八柳

最初の頃は中学とそこまで変わらなかったのですが、高校に慣れるにつれて本領を発揮してきました。自分は通学距離が長く、中々勉強時間がとれないのですが、教科書やノートを開かなくても、今日の授業内容を思い出してみたり、単語帳などを眺めているだけで何もしないのと違いだと思います。勉強についていけなくても、支えてくれる友達や先生方がいるので、そこまで不安視する必要はありません!

伊達

正直大変です…。毎週英単語や古文単語、小テストが襲いかかってきます...!夢にも出てきそうです(笑)が、日々の積み重ねが最終的に良い結果につながってくると思って頑張っています!先生にわからないことを質問したり、友人と勉強したりしています。いろんなことを両立している友人も多く、お互いを高めあって楽しく過ごしています!

櫻井

学習内容は中学校の基礎がしっかりしていれば意外と大丈夫です。しかし、入学したてで生活のサイクルがまだできていないうちや、部活動が忙しい時期は特に忙しくなって時間がなくなる上、疲労も溜まるので家で勉強しようと思ってもできないことが多いです。それでも、授業のスキマ時間や通学時間など、家にいなくても常に勉強できる時間を作ろうと努力すれば成績は維持できます。私も通学中は必ず単語帳を開いたり、学校にいるうちに空いた時間を使って参考書や問題集をやったりしているので家で全く勉強できない日が続いても問題なく生徒会も軽音も両立できています。そこまで心配する必要はないと思いますよ。ただし、スキマ時間のスマホいじりは勉強時間が奪われて本当にもったいないので絶対にやめた方がいいですね。

部活動は楽しい?

加藤

とても楽しいです!私が所属するハンドボール部は学年問わず仲が良く、明るい雰囲気練習しています。部活終わりにみんなでご飯を食べに行ったり、春に合宿をしたりしたことは忘れられない思い出です。もちろん大変なこともたくさんありましたが、普段の学校生活では得られない達成感や思い出、そして一緒に頑張る仲間に出会うことができました。私の高校生活で一番の思い出は部活動だと胸を張って言えるくらい、日々が充実します。西高にはたくさんの部局同好会があるので、ぜひ気になる部活動を探してみてください!

八柳

自分はオーケストラ部に所属しています。中学の時は野球部に所属していた、高校からバイオリンを始めたのですが、部活動体験の時に、初めてバイオリンを弾いて感動したことを今でも覚えています。決して楽な部活ではありませんが、演奏会などで部員が一体となって演奏するのは、非常に達成感があり、やりがいがあります。

伊達

とてつもなく楽しいです!実は私が西高に決めた理由は「放送局に入れたから」なんです。もともと放送局に入りたいと中学生の頃から考えていて、西高が強いというのを聞いて入りました。入ってから番組制作するポイントや、アナウンス技術などたくさんのノウハウを教えてください、僥越ながら全国大会にも出場することができています!毎回、いろんな経験をするたびに西高を選んでよかったと心から思っています!

櫻井

とても楽しいです。例年軽音と生徒会は兼部している人が多く、私もその一人なのですが、とにかくたくさん友達ができて人脈が広がります。バンドでの練習や演奏もちろんですが、それ以上に部活の活動時間中やその後に友達と雑談したり、ご飯を食べに行ったりすることが本当に楽しい時間だと感じます!クラスより仲の良い人ができやすいと思うので部活は積極的に入ってみることをお勧めします。

西高で待ってます!

加藤

西高は勉強・行事・部活動のすべてを叶えられる学校で、西高での3年間のはけがえのない思い出になるはずです。今は受験や高校生活の不安でつらいかもしれませんが、これを読んで西高での生活を思い描いてもらえたらいいと思います。絶対に最高の高校生活が待っているので頑張ってください。応援しています!

八柳

正直西高の事をあまり知らずに入学してしまったのですが、今では西高に入って良かったなと思っています。ここから先は、受験勉強の踏ん張り所ですが、ぜひ頑張って、そして西高での楽しい高校生活を送ってほしいです。応援しています!

伊達

これから高校受験をする皆さん!きっと勉強大変だと思います。ですが、その努力の先には素敵な高校生活が待っています!高校は中学校と比べて(特に西高は)自由度がとっても高いです!皆さんが歩む素敵な高校生活の舞台に、西高を選んでくれればとても嬉しく思います!皆さんをお待ちします!

櫻井

西高は自由な校風が特徴ですが、その校風を作っている「人」と触れ合えることが西高生活の最大の醍醐味といっても過言ではありません。生徒も先生も面白くて自分の知らない世界を見せてくれる人がたくさんいます。頭が良く、いい意味で変な人に数多く出会えるのでそういった人たちと仲良くなってたくさん面白い話を聞きましょう!それができるのは西高だけです。躊躇わず西高を受験しましょう。



日本のリーディングハイスクールを目指して

～創造性・独創性を育み、グローバル人材を育む教育活動～

本校の創立にあたって初代校長 善波 功は、北海道の小天地を目標とするのではなく、全国屈指の学校を目指していました。

現在も、その志を引き継ぎ、日本のリーディングハイスクールを目指して時代に応じた様々な教育活動に取り組んでいます。



第37代校長 相馬 利幸

アドミッション・ポリシー

本校は、1913年(大正2年)に北海道庁立第二札幌中学校として開校し、1950年(昭和25年)に男女共学の北海道札幌西高等学校と改称しました。来年の2027年(令和9年)には、創立115周年を迎える道内屈指の伝統校です。

校訓「自由 自律 叡智 創造」や西高実行精神「やることはやる やるときはやる やれるだけやる」のもと、自由闊達な校風を受け継ぎ、視野を広げ、豊かな人間性を育む様々な教育活動を推進して、多くの優れた人材を我が国のみならず世界に輩出してきました。

本校では「深く、しっかりとした学び」を実践し、幅広い教養と将来の研究活動の基礎となる学力の定着を図り、持続可能な社会の構築に強い意志を持ち、リーダーシップを発揮して社会変革を担っていく人材の育成を目指した教育活動を推進しています。

そのため、次のような生徒の入学を期待しています。

- 【求める生徒像】
- ◆学業、人物ともに優れ、将来の夢や希望を実現させようとする強い意志がある生徒
 - ◆旺盛な知的好奇心を持ち、自らの能力を活用して社会に貢献しようとする高い志を持っている生徒
 - ◆国際交流や国際理解に強い関心を持ち、次世代を担うグローバル人材に必要とされる資質・能力を高めたい生徒

カリキュラム・ポリシー

西高スタンダード「深く、しっかりとした学び」の推進

幅広い教養、将来の研究活動の基礎となる学力の定着を図ります。視点で学習の深淵を極め、高い知性を備え、未知の状況にも対応で

「総合的な探究の時間」における探究活動

教科の枠を超えて、自分の追究したいテーマを設定して自由に「探究」していきま付け、校外への実地調査や取材、外部講師を招いてのレクチャーなど、深く思考する「探究リーダー養成研修」として、東京の企業を3社訪問しました。



第1学年の様子(R7年度)



第2学年の様子(R7年度)



第3学年の様子(R7年度)



探究リーダー養成研修・東京(R6年度)

「創造性・独創性を開花させる教育活動」の推進

- 国際社会で活躍している方による講演会の実施
 - 進路講演会:著名な大学教授の講演(R7:東京大学「みんなで未来を拓いていこう～工学は未来を拓く～」)
- 高大連携プログラム「科学技術系人材育成プログラム」
 - 北海道大学研究室訪問
 - 科学に関する特別講義



進路講演会(R6年度)

SSH(スーパーサイエンスハイスクール)事業で開発したプログラムなどを活用し、

- 高大連携「医療系人材育成プログラム」
 - 医学セミナー →札幌医大の講師による講演
 - 地域医療体験活動 →旭医大と連携した病院実習

西高グローバル・エデュケーション

「グローバルな視野を育成する教育活動」の推進～R7年度 海外研修参加者17名

海外セミナーの開催や外国人研究者による講演会等を行うとともに、様々な海外研修への参加や海外留学を通じた国際交流を推進するなどグローバル人材の育成に取り組んでいます。



アイルランド研修(R6年度)

- アイルランド研修の実施(参加生徒16名)
滞在14日間で、現地高校の授業体験や大学訪問、博物館・世界遺産等での研修実施
- 海外セミナーの開催実績
 - フィンランド駐日大使、アイルランド駐日大使来校(R6)
- 西高生国際交流の派遣実績(主な事業)
 - 北海道・ニュージーランド高校生交換留学事業
 - トビタテ留学Japan日本代表プログラム(R4～1名)
- その他の活動
 - 「Global Studies Program」参加
 - 「まちなかEnglish Quest in 北大」参加
 - 「台湾アンバサダープログラム」参加
 - 「アントレまちなか留学 in 台湾」参加

グラデュエーション・ポリシー

【育成を目指す資質・能力】

- 卒業までに、次のような人材になることを求めて日々の教育活動を行っています。
- ◆創造性や独創性にあふれ、高い知性と豊かな情操、強い志を兼ね備え、持続可能な社会の実現にリーダーシップを発揮できる人材の育成
 - ◆多様化した国際社会で主体的・協働的に生きる資質を身に付けた次代を担う人材の育成

本校では、国や道からの支援や西高の支援団体である「一般財団法人札幌西高会」、「輔仁会」、「PTA」、「後援会」等からの支援も受けており、毎年、生徒の学習活動や諸活動に取り組みやすい学習環境をつくるよう努めています。西高に入学して、将来、日本のみならず、世界で活躍する人材となる素養を身に付けましょう。



また「総合的な探究の時間」などの探究活動を通して、教科横断的な思考力・判断力・表現力等を育成します。

動

す。令和7年度入学生より1年次に週1単位、2年次に週2単位を教育課程に位置ための時間を確保しています。また、令和7年度には東京輔仁会にご協力いただき、



第3学年の様子(R7年度)



探究リーダー養成研修・東京(R6年度)



北大研究室訪問(高分子機能学専修)(R6年度)



メディカル講座(R6年度)

国際社会で通用する、高度な素養を備えた人材の育成に取り組んでいます。

- 理数系コンテスト等への参加
 - 科学の甲子園北海道決勝大会出場(R6)
 - 物理チャレンジ&化学グランプリ(R6)

「やることはやる」

絶対あきらめない!西高魂

大学合格は越えるハードルの一つ、その先の未来を描こう!

令和8年度入試【大学合格者数】

国公立大学 240名（うち現役188名）			
北海道大学	79(60)	千葉大学	4(4)
小樽商科大学	36(35)	東京外語大学	2(2)
北海道教育大学	7(7)	埼玉大学	1(1)
札幌医科大学（医学）	4(2)	横浜国立大学	2(0)
札幌医科大学（保医）	6(5)	静岡大学	1(1)
室蘭工業大学	4(3)	金沢大学	2(1)
旭川医科大学（医学）	2(2)	名古屋大学	4(2)
旭川医科大学（看護）	1(1)	京都大学	2(0)
千歳科学技術大学	8(4)	奈良女子大学	1(1)
札幌市立大学	1(1)	大阪大学	7(7)
弘前大学	6(5)	神戸大学	7(5)
東北大学	6(4)	九州大学	1(0)
一橋大学	2(1)	国際教養大学	3(3)
筑波大学	2(2)		など

（うち国公立大学 医学科 8(5)）

※（ ）内は現役合格者数

私立大学 488名（うち現役301名）			
北海学園大学	48(37)	中央大学	23(12)
北星学園大学	9(9)	法政大学	41(24)
北海道科学大学	40(22)	成蹊大学	5(4)
北海道医療大学	25(21)	成城大学	3(1)
天使大学	7(6)	武蔵野美術大学	11(10)
早稲田大学	13(11)	津田塾大学	2(1)
慶應義塾大学	10(7)	明治学院大学	2(2)
上智大学	11(9)	芝浦工業大学	9(5)
東京理科大学	26(15)	日本大学	6(1)
明治大学	30(22)	同志社大学	14(13)
青山学院大学	8(6)	関西学院大学	8(3)
立教大学	10(7)	立命館大学	7(1)
国際基督教大学	1(1)	関西大学	13(2)
			など

※（ ）内は現役合格者数

多彩な分野で才能を発揮!わが西高の先輩たち

（敬称略）



佐藤忠良作「蒼穹」



本郷新作「鶏を抱く女」



山内壮夫作「家族」



本田明二作「けものを背負う男」



笠井誠一作
「水差しとかりんとあけびの
ある静物」



北海道大学 医学部医学科 1年生
新井 杏菜さん（琴似中学校出身）

「自由で、なんかチャラそう」—西高校にそんなイメージを持つ人も多いと思います。確かに私服登校ですし、髪色も自由ですし、西高祭や運動会といった生徒会中心の行事も多い。同じ大学の本州の同級生に話しても羨ましがられるほど、本当に楽しくて愉快な学校です。でも、西高に通っているだけで、勉強も部活も楽勝で、大学もすんなり行ける……なんて甘くはありません。楽しい自由の裏には、自己責任と失敗を恐れない挑戦があります。西高には、自分を磨くチャンスがあふれています。起業経験等様々な卒業生によるワークショップや留学、そして私が進路を変えるほどの衝撃を受けた、医療系の学年混合プログラム「TEMP」など、一歩踏み出せば違う世界を見ることができます。勉強、部活、自分のやりたいこと。すべてを両立させるのはとても大変です。けれどここには、同じように高い目標を掲げ、異なる視点から努力を続ける仲間がいます。時には失敗し、意見がぶつかることもあります。それでも、その失敗を成長に変えるために友と本気で意見を交わした時間は、私にとって成長のきっかけであり、一生の宝物となりました。「今の自分を変えたい」と願うなら、その挑戦を全力で応援してくれる西高へ来てください。皆さんがチャンスの波に遅れず飛び込み、刺激的な学校生活を掴み取れるよう、応援しています。



一橋大学 法学部 1年生
岩城 祐政さん（札幌市立登川中学校出身）

振り返ってみると、西高で過ごした3年間は本当に充実した時間でした。西高の魅力は、勉強だけでなく、部活や行事などにも全力で挑戦できる環境があることだと思います。西高には、勉強が得意な人だけではなく、部活動や学校行事、芸術活動や趣味など、それぞれの分野で輝く個性豊かな人たちが集まっています。何か一つに秀でた人も多く、多様な価値観に触れながら学校生活を送ることができます。全体として温かく親しみやすい雰囲気があると感じていました。また、西高は行事がとても盛んな学校です。体育祭や学校祭はもちろん、弁スベやハロウィンなどのユニークなイベントもあり、一年を通してさまざまなイベントが開催されます。そして何より印象的なのは、生徒たちがどのイベントにも本気で取り組むことです。当日まで全力で取り組むからこそ、大きな達成感や仲間との絆を得ることができます。もちろん、勉強や受験に真剣に向き合いたい人にとっても恵まれた環境です。熱心に支えてくださる先生方がおり、生徒自身も高い意欲を持って努力しています。部活動でも優れた実績を残しており、多くの生徒がそれぞれの目標に向かって挑戦を続けています。西高には学校を愛している人が本当に多く、卒業後も母校とのつながりを大切にしている先輩方がたくさんいます。それは、高校時代に仲間と本気で何かに打ち込み、かけがえない経験を共有できるからだと思います。忙しい毎日、振り返れば充実した思い出として心に残ります。西高には、後悔のない高校生活を送るための環境が揃っていると私は感じました。皆さんにもぜひ、自分らしく挑戦しながら充実した3年間を過ごしてほしいと思います。



東北大学 農学部 1年生
寒河江 珠希さん（札幌市立八条中学校出身）

大学に進学して高校生活を振り返ったとき、西高はまさに「今を生きる」学校だったと強く感じます。西高は息つく暇もないほど行事が豊富で、生徒だけでなく先生方まで全力で取り組んでいます。クラス全員で一つの目標に向かって走り抜ける経験は、高校生活ならではの貴重な時間でした。こうした機会が多いからこそ、西高の大きな魅力だと思います。また、西高には「自分でやってみる」ことを後押ししてくれる環境が整っています。先生方は親身に相談に乗ってください、OBOGの方々からは海外研修や勉強の差し入れなどで手厚い支援をいただきました。さらに、WRAPSでは先生方をはじめ多くの方々に支えられながら、自分の探究を深めることができます。私自身も勉強や部活動の面で多くの方々に助けていただき、挑戦する勇気をもらいました。相談でき、応援してくれる大人が身近にいることは、本当に心強いものです。もちろん、最終的に動き出すのは自分自身です。しかし、西高にはその一歩を踏み出すための確かな土台があります。この環境を存分に活かして、ぜひ多くのことに挑戦してほしいと思います。私は「高校生に戻りたい」と思うことはありません。それは高校生活がよかったからではなく、むしろ充実した「今」を積み重ねられたからこそ、後悔も含めてすべてが自分を形づくる大切な経験になり、これからの人生を前向きに歩んでいこうと思えるからです。皆さんが、一度きりの高校生活を西高で思いきり楽しめることを心から願っています。

授業と探究の相互作用で探究者を育てる

学習・探究活動

教科の授業と探究活動での学びが互いに作用し合うことで、生徒の学力や意欲が一層高まり、自ら学び続ける姿勢が育まれます。本校ではその両方を充実させる教育課程が組まれています。

①質の高い学びを叶える65分授業

1年間を前期・後期に分け、月曜日から金曜日まで65分×5時間の学びの場を用意しています。65分の授業を行うことで、50分授業ではできなかった「もう少し」に取り組む、深い学びを実現します。



互いに
作用しあう

②問いに向き合い考え抜く力を育てる授業

授業は単なる知識の伝達にとどまりません。教師からの問いや、生徒自身が立てた問いにじっくり向き合い、深く思考する力を育みます。ペアワークやグループワークといった協働的な学びを通じて理解を深める場面も多く取り入れています。さらに、基礎・基本の定着を図るため、週末課題や単元テストにも取り組んでおり、これらを日々積み重ねていくことで、学びの土台をしっかりと築いていきます。

③興味・関心の解像度が高まる探究活動

探究では「自走する探究者」を目指す姿としています。その姿に向かうため、学年ごとに段階的な目標を設定し、生徒一人ひとりが興味関心や社会の課題、違和感(モヤモヤ)などを起点に問いを立て、仮説検証を繰り返しながら自らの探究を深めていきます。

教育課程

◎1・2年生で、各教科の基礎・基本を確実に身につけます。

◎3年生で、類型および多様な選択科目の設定により、各自の進路に応じた、より深い学習を行います。

※点線囲み部分は選択科目です。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
1年生	現代の国語	言語文化	地理総合	歴史総合	数学I	数学II	数学A	化学基礎	生物基礎	体育	保健	音楽I	美術I	書道I	英語コミュニケーションI	論理・表現I	家庭基礎	総合的な探究の時間	LHR													

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
2年生	論理国語	古典探究	公共	地理探究	日本史探究	世界史探究	物理基礎	物理生物	化学	数学II	数学B	発展数学I	数学C	体育	保健	音楽表現	美術表現	書道表現	英語コミュニケーションII	論理・表現II	情報I	総合的な探究の時間	LHR									

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
3年生文型	論理国語	古典探究	地理探究	日本史探究	世界史探究	倫理	発展公共	政治・経済	発展地理	発展日本史	発展世界史	倫理	芸術II	発展芸術	応用英語	化学研究	生物研究	地学研究	化学研究	生物研究	地学研究	体育	英語コミュニケーションIII	論理・表現III	発展情報	LHR						

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
3年生理型	論理国語	古典探究	地理探究	日本史探究	世界史探究	倫理	発展公共	政治・経済	数学III	数学C	数学課題探究	発展数学II	物理	生物	化学	体育	英語コミュニケーションIII	論理・表現III	LHR													

[入学者選抜について]

入学者の選抜に当たっては次に示す3つの方法で、合格者を決定します。

一般入試 選抜方法【募集人員】320名

- 学力点と学習点を同等に取り扱う選抜 募集人員の70%程度
- 学習点を重視した選抜 学力点:学習点= 4:6 募集人員の15%程度
- 学力点を重視した選抜 学力点:学習点= 10:0 募集人員の15%程度

進路行事・啓発活動

本校では生徒一人ひとりが自分の強みや特性に気付き、興味関心のあることを広げ深めつつ、「進路を考える」ことができるよう、さまざまな機会を設けています。

①進路指導室の活用

全国の大学の資料や過去の大学入試問題だけでなく、進路を考えるためのヒントになる資料がたくさんあります。常駐の教員に相談することもできます。

②「合格者」と語る会

毎年、生徒達に大変好評の企画です。勉強方法やオススメの問題集への取り組み方などだけでなく、その年度合格した先輩の「生」の声を聞くことができます。

③大学研究室訪問

実際に行き、大学の先生や大学生と話し、自分で見ることで、興味関心の幅が広がり、深まったりします。

④課題探究型医学プログラム・医療体験等

医療系学科を目指す生徒は、高校卒業時に「職業を選ぶ」ということになります。大学に合格できればそれでいいわけではありません。医療について高校生なりに調べて探究したり、体験したりする中で、自分の「志」を確かなものにしていきましょう。

⑤「大学説明会」等

放課後に、希望者を集めて実施されます。積極的に参加してみると、視野が広がります。

講習

長期休業中の講習のほか、3週間にわたり土曜日に実施される「土曜講習」、平日の放課後と土曜日で実施される「期間講習」があります。1年生では英・数・国の3教科を中心に、学年進行にともなって理科・地歴公民・情報も実施し、実戦力を養成するための体制を整えています。

模試

全国レベルで自分の実力を確かめます。結果を細かく分析したデータをもとにした、各教科の担当教員からのアドバイスやHR担任との個人面談により、進路目標を明確にしていきます。

日課表

登校	～ 8:25	昼休み	12:15～13:00
SHR	8:25～ 8:35	4校時	13:00～14:05
1校時	8:40～ 9:45	5校時	14:15～15:20
2校時	9:55～11:00	SHR	15:20～15:30
3校時	11:10～12:15		

	1年	2年	3年
4月	課題確認テスト 進路希望調査	進路希望調査 土曜講習	模試：共通テスト対策模試 記述対策模試 大学別模試・小論文模試など、毎月1～2回のペースで実施しています。
5月	進路希望調査		
6月	科目選択	文理選択 定期考査	
7月	模試 夏期講習(I・II期×4日間)	夏期講習(I・II・III期×4日間)	
8月	課題確認テスト	期間講習 進路希望調査	
9月	定期考査 土曜講習	土曜講習	土曜講習
10月	進路希望調査	進路別ガイダンス 進路希望調査 期間講習	実力テスト
11月	模試	受験校調査 期間講習	
12月	土曜講習	土曜講習	期間講習
1月	冬期講習(II期)4日間 課題確認テスト 模試		共通テスト
2月	期間講習 定期考査		入試本番！ 私立大学 国公立大2次
3月	期間講習 春期講習 4日間		



熱中できるものがあるから、西高生活は何倍も楽しい！

剣道

現在男子3名女子6名の合計9名で活動しています。剣道経験者もおりますが、6名が西高に入学してから始め、多くは1年生で初段、2年生で弐段を取得しています。剣道の理念は「剣の理法の修練による人間形成の道」です。剣道を通じてどのような人間になるかに重点を置いて稽古に励んでいます。今後とも応援よろしくお願いします。

’25 高体連全道大会女子個人ベスト8



テニス

[男子]
’23 高体連全道大会個人戦ダブルスベスト16
新人戦全道大会団体戦ベスト8
’24 高体連全道大会団体戦、
個人戦シングルス・ダブルス出場
新人戦全道大会団体戦第3位
’25 高体連全道大会団体戦、
個人戦ダブルス出場
個人戦シングルスベスト16(2名)
’26 高体連全道大会
個人戦シングルス・ダブルス出場

[女子]
’21 高体連全道大会個人戦シングルス5位(全国大会出場)
’22 高体連全道大会個人戦シングルスベスト4(全国大会出場)、ダブルスベスト4
’24 高体連全道大会個人戦シングルス3位(全国大会出場)
新人戦全道大会団体戦ベスト16
’25 高体連全道大会個人戦シングルスベスト4(全国大会出場)
新人戦全道大会団体戦ベスト8
’26 高体連全道大会団体戦ベスト8、個人戦ダブルスベスト8

ソフトテニス

’21 高体連男子ダブルス全道大会出場
新人戦男子団体全道大会出場
(支部順位決定戦第3位)
新人戦男子ダブルス全道大会出場
’22 高体連男子団体支部6位全道大会出場
国体女子ダブルス全道ベスト32
’23 高体連女子団体支部4位全道大会出場
高体連女子ダブルス全道大会出場
高体連全道大会団体戦ベスト16
高体連全道大会個人戦ベスト64

バレーボール

[男子]
’23 新大会地区第4位全道大会ベスト16
’24 高体連決勝トーナメント進出
’25 高体連決勝トーナメント進出ベスト16
’25 新大会地区第6位全道大会出場
’26 春季大会地区第8位
’26 高体連地区第8位
’26 高体連全道大会ベスト8
[女子]
’22 高体連決勝トーナメント進出
’23 高体連決勝トーナメント進出
’24 高体連決勝トーナメント進出
’25 高体連決勝トーナメント進出
’26 高体連決勝トーナメント進出

バスケットボール

[男子]
’25 札幌地区春季大会予選リーグ敗退
高体連札幌支部予選1回戦敗退
札幌地区選抜大会3回戦敗退
札幌地区新人大会決勝トーナメント1回戦敗退
’26 札幌地区春季大会ベスト16
’26 高体連札幌支部予選ベスト16
[女子]
’25 春季大会決勝トーナメント進出2回戦敗退
’25 高体連札幌支部予選ベスト16
’25 選手権大会1回戦敗退
’25 新人戦決勝トーナメント進出1回戦敗退
’26 春季大会決勝トーナメント進出2回戦敗退
’26 高体連札幌支部予選2回戦敗退

ハンドボール

ハンドボールは走・投・跳を必要とする競技ですがとてもやりがいのあるスポーツです。現在、男女とも90%が素人集団です。心・技・体を「チーム西高」で鍛え、充実した高校生活を送りましょう。

[男子] ’16 全国大会出場
’22 高体連全道大会出場
’25 新人戦全道大会出場
[女子] ’23 高体連全道大会準優勝・新人戦全道大会準優勝
’24 高体連全道大会第3位・新人戦全道大会出場
’25 高体連全道大会出場・新人戦全道大会出場

バドミントン

[男子]
’23 秋季個人戦(2部大会)個人戦ダブルス優勝
’24 春季団体戦西ブロック2部2位(1部昇格)
’25 春季団体戦西ブロック2部3位
秋季団体戦西ブロック2部2位(1部昇格)
’26 春季団体戦西ブロック1部6位
高体連個人戦ダブルスベスト16
[女子]
’23 春季団体戦西ブロック3部準優勝(2部昇格)
’24 春季団体戦西ブロック2部2位(1部昇格)
’25 春季団体戦西ブロック3部1位(2部昇格)
’25 高体連団体・個人戦(単)ベスト16
’26 選手権個人戦西ブロック(複単)ベスト32

卓球

「道内公立高校最強の卓球部」を合い言葉に日々の練習に励んでいます。学習と部活動の両方に頑張りたい人、もちろん初心者も大歓迎です!

’24 国民スポーツ大会卓球競技北海道予選会場(男子2名女子2名)
インターハイ北海道予選会場男子団体出場(ベスト16)
北海道卓球選手権大会ジュニアの部出場(男子1名)
北海道高等学校選抜卓球大会女子団体出場
男子個人戦シングルス出場(3名)・3位入賞
インターハイ北海道予選会場男子団体出場
国民スポーツ大会北海道予選会場(男子1名)

野球

本校HPにて、近況報告しております。是非、ご覧ください。少人数ではありますが、「文武不岐」の精神で、活動しています。高校生にしかできない野球、新しい形の高校野球と一緒に作り出しませんか？

サッカー

「誰からも応援されるチーム」を目標に日々練習に励んでいます。サッカーが好きで、やる気のある人を歓迎します。一緒に高みを目指しましょう!

’24 高校サッカー選手権大会札幌地区予選Dブロック優勝
’24 高校サッカー選手権大会北海道大会ベスト16
’25 高校サッカー春季大会Bブロック優勝
’25 高体連札幌支部予選ベスト16
’26 高円宮杯U-18札幌ブロックリーグ3部
’26 高校サッカー春季大会Hブロック優勝
’26 高体連札幌支部予選5位
’26 高体連全道大会出場

陸上競技

「全国高校総体(インターハイ)」に出場する選手を毎年輩出することをチーム目標とし、部員の多くが全道大会に出場しています。学年関係なく明るく前向きに切磋琢磨しながら部活動に取り組んでいます。令和8年度の全道大会には男女合わせて22名が出場。男女1名ずつの2名が滋賀インターハイの出場権を獲得しました。

’26 全道高校陸上競技選手権大会
男子5000m競歩準優勝
女子棒高跳3位※2名がIH進出
男子5000m競歩7位入賞1500m7位入賞
女子走幅跳決勝進出

弓道

’23 春季支部大会男子団体8位
’24 高体連支部大会女子個人8位全道大会出場
’24 新人戦支部大会男子団体2位全道大会出場
’24 新人戦支部大会男子個人6位全道大会出場
’24 新人戦南北北海道大会男子団体4位(決勝進出)
’24 新人戦南北北海道大会男子個人決勝進出
’25 高体連支部大会男子団体8位
’26 高体連支部大会女子個人5位全道大会出場

山岳

’12 マレーシアのキナバル山(4095m)へ遠征
’14～’16 全道登山選手権大会参加(男女とも)
’19 全道登山選手権大会参加(男女とも)
’17 雌阿寒岳・ニセコラフティング
’18 弥彦山(新潟)
’19 渡島駒ヶ岳
’24 大雪山旭岳



◆ 主な活動と実績
・8月の定期演奏会(札幌コンサートホールKitara)
・高文連演奏会、地域ふれあいコンサート、アンサンブルコンテストなど
・令和8年度実績:“文化部のインターハイ”と呼ばれる全国高等学校総合文化祭(総文祭)に北海道代表として出場!部員全員で最高のステージを創り上げました。

生徒会執行委員会

西高の伝統である運動会や西高祭などの企画・運営を行っています。本校の校訓「自由・自律・叡智・創造」を生徒が実践できるよう行事を企画し、準備においてもこの校訓が実践できるように活動しています。

放送局

朝・昼の校内放送や各種学校行事での放送業務、NHKコンテストや高文連等の大会にも参加しています。

’23 Nコン全国大会創作ラジオドラマ部門全国優勝
ラジオドキュメント部門制作奨励賞
’24 Nコン全国大会創作テレビドラマ部門制作奨励賞
’25 Nコン全国大会ラジオドキュメント部門全国優勝
テレビドキュメント部門優秀(3位)
アナウンス部門出場
高文連全道大会ビデオメッセージ部門2位
アナウンス部門2位・朗読部門3位
’26 Nコン全国大会朗読部門優良賞
アナウンス部門入選
ラジオドキュメント部門出場
創作テレビドラマ部門出場

図書局

図書の貸出・返却業務はもちろんのこと、図書の展示方法の工夫、図書館報「Our Library」の編集・発行、西高祭伝統の古本市開催などを行っています。

令和6年度高文連石狩支部図書局(委員会)研究大会参加

新聞局

『札幌西高新聞』を編集・発行します。北海道で初めて高校生新聞の縮刷版を発行した、歴史と伝統のある新聞局です。生徒の「知る権利」を代行して報道し、学校の歴史と生徒の活動を記録し、学校をよりよくするための問題提起や提案を心がけています。

’25 全道高等学校新聞研究大会(網走)参加

マンガ・イラスト

主な活動は校内での部誌の配布(年5回)や展示です。冊子などの挿絵の依頼にも応えています。校外活動としては毎年、まんが甲子園にも応募したり、道外の高等学校との合同誌に参加したりしています。

’22 全国高等学校漫画選手権大会
(まんが甲子園)本選大会出場(高知県)

オーケストラ

【西高オケ部で、一生モノの音楽体験をしませんか?】

私たちオーケストラ部は、北海道で最も古い歴史を持つ、全国的にも珍しい部活動です。「オーケストラって難しそう…」と思うかもしれませんが、心配いりません!実は高校から楽器を始めた初心者がたくさん在籍しています。特に、弦楽器はほぼ初心者です。基礎から丁寧に練習を重ね、卒業生の中にはプロの演奏家や、全国の主要楽団で中心メンバーとして活躍している先輩方も沢山います。



毎年の定期演奏会では、ドヴォルザークやチャイコフスキーといった偉大な作曲家の交響曲(シンフォニー)に、1年をかけてじっくり挑みます。高校生でこれほど本格的なオーケストラに挑戦できるのは、西高だけです!最高の仲間と一緒に、壮大な音楽を奏でる感動を味わってみませんか?音楽室で、皆さんをお待ちしています♪

演劇

Breaking!!をモットーに、輔仁会館で放課後活動しています。教育文化会館で上演する高文連演劇発表大会や季節に合わせた自主公演に向けて、キャストとスタッフが丸となって舞台芸術に取り組み表現力の向上に努めています。

’24 「誰そかれ」、石狩支部大会優良賞、舞台技術賞、全道大会出場(講評委員)
’25 「コッコ・ゴッコ」、石狩支部大会優良賞

茶華道

茶道では、講師の先生の指導のもと、お点前のお稽古をしています。西高祭のお茶会は毎年行列ができる人気ぶりです。本格的なお茶室も一見の価値あり。卒業までには裏千家の初級の許状がいただけます。華道では、池坊のいけ花を講師の先生から教えていただきます。月に数回、季節を感じ、心を花に託して表現する楽しさを味わいます。希望者はお免状を取得することもできます。茶道、華道のいずれかまたは両方のお稽古を経験できます。

書道

「一筆に想いを込める!」高文連、全道学校書道展、北海道学生書道展覧会など、多数の展覧会に出品しながら、日々自分なりの`書`を探究しています。西高祭ではアトリウムで書道パフォーマンスを披露しています。一緒に`書`を楽しみませんか?

文芸

「言葉をつむぐ、言葉でつなぐ」そんな活動をしています。

’20 こうち総文出場
’21 わかやま総文出場
’22 とうきょう総文出場
’23 かごしま総文出場
’24 ぎふ総文出場
’25 文芸評論部門全国最優秀・文部科学大臣賞受賞
’26 あきた総文出場
俳句甲子園、全道大会、北海道・東北大に出場しています!

科学

それぞれが研究テーマを自分で決めて活動しており、扱うテーマは理科全般の各分野にまたがっています。自然科学に興味があればどなたでも歓迎します。全国大会へも出場しています。

’18 第42回高文連全国大会(信州総文祭2018)出場
’19 日本化学会北海道支部奨励賞受賞
’22 第19回日本物理学会Jrセッション(全国大会)出場
’25 第22回日本物理学会Jrセッション(全国大会)出場

クロース
アップ
2026



囲碁・将棋

’25 全道将棋選手権大会(札幌)
男子団体戦3位女子個人戦優勝
全国高等学校将棋選手権大会(香川)
女子個人戦ベスト16
全道高等学校将棋新人大会(帯広)
男子個人戦21位女子個人戦優勝.12位
全国高等学校文化連盟将棋新人大会(山形)
女子個人戦ベスト16
’26 全道将棋選手権大会(旭川)
男子個人戦出場女子個人戦優勝
全国高等学校将棋選手権大会(秋田)

軽音楽

西高祭での演奏や輔仁会館などでライブ活動・クリニックを行うほか、各種大会にも参加し着実に成績を伸ばしています。

’25 第10回全道高等学校軽音楽大会
コピー部門準グランプリ、オリジナル部門グランプリ
総合グランプリ(オリジナル部門出場バンド)
第12回全国高等学校軽音楽コンテスト(埼玉)出場(オリジナル部門)
’26 第11回全道高等学校軽音楽大会
コピー部門グランプリ、総合グランプリ

美術

絵画(油彩、水彩、イラスト等)、彫刻、工芸(染織)、デザインなど、各自の興味関心に合った個人制作はもちろん、学校祭垂れ幕の共同制作や校外展の企画・運営など様々な活動を行っています。

’25 高文連全道入選4名U21道展優秀賞4名、奨励賞3名、入選4名
サッポロアートステージスクールアートライブ参加
’26 さっぽろ雪まつりスノーオブジェコンテスト参加

ダンス同好会

観客と演者どちらも楽しめるパフォーマンスを目指し、雨にも風にも暑さにも負けず、部員一丸となって活動しています。平日は週1回ベース、西高祭などのイベントの前は毎日ハードに練習しています。例年、新入生歓迎会のステージ発表や西高祭のエンディングステージ発表・有志発表に出演、また声をかけていただいた校外のイベントなどでパフォーマンスを披露しています。

邦楽

箏、三味線、尺八などの和楽器があり、主に箏を演奏するのが活動の中心です。週3回輔仁会館で、大会や発表会に向けて練習しています。楽器も部で用意していますので誰でも安心して入部できます!

’25 第59回全道高等学校音楽発表大会出場
’26 第60回全道高等学校音楽発表大会出場

何事も「やれるだけやる」それが西高生

入学式

新入生歓迎会

生徒会執行委員会や部活動の先輩が、ユニークな企画で盛り上げます。



運動会



▲お弁当スペシャル



西高祭

パワーがみなぎるビッグイベント。楽しむときは思いっきり楽しむのが西高流。



高体連・高野連大会

大会に備え、ゴールデンウィークに練習試合や合宿を行う部活動も。



定期考査Ⅰ

年4回の定期試験。「やるときはやる」の西高実行精神をまずここで発揮しよう。



炊事遠足

工夫を凝らした様々なメニューが登場!



October

定期考査Ⅱ

September

November

体育大会



前期の最後を締めくくる大会。部活動を引退した3年生も久しぶりに燃えます。

定期考査Ⅲ

December



校舎中央のアトリウムではハロウィンやクリスマスに各部活動によるパフォーマンス(通称「アトバ」)が行われます。



March

定期考査Ⅳ

見学旅行(2年)

仲間と過ごす3泊4日の旅。忘れられない思い出になるはず。



February

大学入学共通テスト(3年)

いよいよ受験がスタート。「西高生は本番に強い」と定評あり!



卒業式

式が終わる直前にかかる、卒業生の「ちょっと待った!」コールも恒例。優れた生徒には「善波賞」。笑いあり涙ありの卒業式。



西美展

美術部と書道部による年に1度の校外展。



海外研修

長期休業中には海外研修を実施。アイルランドでホームステイやプレゼンテーション。



生徒によるミニコンサートも催されます。



西高創世記

二中から西高4万人の青春「百年の物語」より

札幌に2つ目の北海道庁立男子校として誕生

当時、札幌には北海道庁立の男子校は札幌中学(旧一中、現札幌南高)だけで、道内に4校しかなかった。札幌の人口が約9万人に膨れあがるとともに、子弟の教育熱も高まり、札幌中学の倍率が約4倍という狭き門となったことから、明治45年(1912年)、道内5番目の庁立男子校として、本校「北海道庁立第二札幌中学校」の開設が認可された。

札幌南高とは兄弟、北高・東高とも家族関係

明治45年(1912年)に、第二札幌中学(本校)と札幌中学(現札幌南高)が、1つの学校のようにまとめられて入学者選抜が行われるとともに、札幌中学の校舎を利用して授業がスタートした。1学年5クラスのうち、甲、丙、戊の3クラスが札幌中学、乙と丁の2クラスが本校にあてがわれた。すなわち、札幌中学21期生と第二札幌中学1期生は、同じ試験で入学し同じ校舎同じ先生の下で学ぶ兄弟関係であった。

また、昭和25年(1950年)に、道立札幌第二高校(本校)と札幌第一高校(現札幌南高)、道立女子高(現札幌北高)、市立女子高(現札幌東高)の四校が、男女共学のため札幌東・西・南・北高に再編された。在校生は各校に強制的に移動させられ、級友と泣く泣く別れた。生徒は、移動しても前の学校が忘れられず、東西南北は家族のような関係と言える。

西高はいつも本道を代表するモダン校舎

初代校舎は、大正2年(1913年)に北3条西18・19丁目に建設された。エメラルドグリーンのペンキに塗られた二階建ての当時としてはモダンで洒落た校舎であった。

二代目校舎は、初代校舎焼失により、昭和37年(1962年)に現在地に移転し建築された。お洒落なレンガづくりの校舎で、本道の公立高校のモデルとなるスチーム暖房・水洗式トイレが導入された。

そして、現在、二代目レンガ校舎の面影を正面に残しつつ、三層吹き抜けのアトリウムがあるW型校舎へと、お洒落な校舎の伝統がまた引き継がれた。



たった3ヶ月でも好きになれるのが西高

初代校舎が、昭和35年(1960年)に出火した。駆けつけた教師・生徒が立ち尽くす中、札幌市の消防車全25台が出動し消火に当たったものの、大半を焼失した。教職員・生徒に悲壮感漂う中、1年の女生徒2人が、焼け跡を呆然として歩いているとき、小さなチョークを見付け拾った。一人が、黒ずんだ廊下の外壁に「西校」と書いた。もう一人の生徒が、ほんの少し前に、学校の横を通った他校生が「西高もなくなったなあ」と言っていたのを思い出し、迷わず「消えず!」と続けた。「たった3ヶ月の西高生でも、こんなに西高が好きなの、という思いをようやく誰かに伝えられたような気がした」と言う。この落書きは、西高生の母校を思う強い気持ちの表れであり、新聞に掲載された。



全国屈指の学校を目指して創立

初代校長善波功は、本校を創立するにあたり、北海道の小天地を目標にするのではなく、全国屈指の学校を目指していた。その結果、本校は北海道における模範校となり、当時、道庁ではどこの学校を視察したらよいかと問われると、すぐに二中と答えるようになっていた。

善波は、礼節を重んじ生徒に徹底的にたたき込んだ。規律はかなり厳しく、特に服装には厳格であった。遅刻も厳禁である。しかも始業10分前に校門が閉じられた。男女交際など考えられない時代であるため、庁立高等女学校(現札幌北高)の寄宿舎のあった北側は通行禁止となっており、生徒は厳格に従っていた。このように、善波の指導の下、二中生徒は礼儀正しく身だしなみがよかったため、世間から「北海道の学習院」と呼ばれるようになっていた。



■校訓

「自由」とは、真理と正義を追求し、人格の完成をめざすための基本前提
「自律」とは、その自由を支える精神
「叡智」とは、創造力の基盤となる高い知性
そして、「創造」とは人類の平和と繁栄を希求し、豊かな文化をつくりあげる力。
シンプルな4つの単語に深く大きな意味を込めた西高の校訓は、先輩たちから脈々と受け継がれています。

■西高実行精神

西高生なら誰もが知っている合い言葉。
これに「やれなくてもやる」を付け加えて、叱咤激励する先生もいます。

西高を支援する4つの組織

①西高PTA

PTAは生徒の学校・家庭・社会生活の改善と向上を目的に、保護者と教職員で組織。学年・学級懇談会の実施、広報誌の発行、研修旅行の企画・実施、各種研修への参加や教育相談・行事・保健衛生・図書等、教育活動全般の振興事業支援を行っています。

②西高後援会

後援会は教育活動の推進への後援を目的に、保護者と賛助会員で組織。学校祭バザーの開催、部活動等大会出場生徒への遠征補助、引率教員旅費、部活動環境整備・物品支援、進路指導事業(講習・講演会開催、資料購入)、施設維持等を行っています。

③輔仁会(ほじんかい)

会員のネットワーク構築と西高の発展への寄与を目的に、卒業生等在学した者と名誉会員(教職員)による同窓会組織。輔仁会館(同窓会館)を有し、会の活動をはじめ、在校生の部活動や放課後自習室等で活用されています。10月には総会・懇親会を開催しています。

④一般財団法人 西高会

西高卒業生、PTA役員等を中心に理事や評議員を務める組織。奨学金制度、海外研修補助、学校林・学校花壇整備、部活動環境整備・物品支援等を行っています。また、「西高サポーターズカード」を発行し、その手数料収入を部活動等の助成にあてています。

西高 ものしり マップ



北海道札幌西高等学校

〒064-8624 札幌市中央区宮の森4条8丁目1番地

TEL 011-611-4401 / FAX 011-611-4403

【交通のご案内】

地下鉄東線「西28丁目」下車 徒歩15分

JR北海道バス／西21、循環西20、循環西21、琴40、琴46「西高校前」下車 徒歩2分

【原画制作】美術部2年生 服部 咲希